

現地見学会の開催 ～ 令和6年度 米代東部流域林政連絡会議 ～

夏の暑さが過ぎ、次第に秋の寒さを感じる中、国有林における高齢級間伐箇所と早生樹の植栽試験地の現地見学会を開催しました。

【高齢級間伐箇所見学】

国産材資源を有効活用するために、素材生産事業から出材される高品質材について、高品質ブランド材規格を新たに制定し、令和4年度から供給を開始しました。

米代東部森林管理署では、主に林齢80年生以上のスギ高齢級間伐箇所から出材される高品質材を「あきたの極上品」や「高齢級国有林高品質材」として市場に供給しています。

本会議では、実際に高齢級秋田杉の林地に行き、高齢級秋田杉の概要と実物を見学した後、間伐の秋田杉を伐倒する様子を見ていただきました。



【早生樹（ユリノキ）植栽試験地】

ユリノキとは、モクレン科ユリノキ属の落葉広葉樹であり、日本では街路樹や公園に広く植えられており、成長、通直性、耐寒性、病虫害の耐性に優れ、加工が容易なことから、寒冷地型早生樹施業の確立を目指すこととしています。

本試験地では、ユリノキとハンノキを調査対象としており、早生樹の試験地の概要と試験経過の現状等を解説し、参加者と意見交換を行いました。

